# 浜松市生活支援体制づくり協議体（第２層、ありたま圏域）　第２回会議　議事録

| | |
|---|---|
| 開催日時 | 令和３年８月４日（水）９時30分から11時20分まで |
| 参 加 者 | 委員：９人　事務局：１人　その他：９人（高齢者福祉課：１人、東区長寿保険課３人、積志協働センター1人、包括支援センターありたま：１人、浜松市社協：３人） |
| 場　　所 | 積志協働センター　302講座室 |
| 内　　容 | １　会長挨拶<br><br>２　前回の振り返り<br>事務局より令和3年4月21日に開催した協議体会議の協議内容について報告。<br><br>３　協議事項<br>（１）外出支援について<br><u>委員からの意見</u><br>・家事支援で見守りや付き添い支援の中で、「やむを得ない場合は車を使用する」ことがあるとし、届け出を必要としない支援としてスタートする。<br>・対応件数が増えると、保険代等は地区社協負担ため、財源に問題がある。<br>・外出支援については、浜松市全体の問題として捉えて、行政に対して市社協としてもっと言ってもらいたい。<br>・ガソリン代や保険料の負担、タクシー業界との調整等，他の地域でも支援が広がっていくような体制を作ってもらいたい。<br>・この協議体で話し合ったことを第１層にも共有してもらいたい。<br><br>（２）サロンの拡充について<br>■住民主体サービス補助金について<br>・高齢者福祉課より住民主体サービス補助金の説明がある。<br><br><u>委員からの意見</u><br>・高齢者福祉課に補助金の申請の仕方を指導してもらいたい。<br><br>※今後、住民主体サービス補助金についてサロン活動をしている３団体と長寿保険課、高齢者保険課と調整し話し合いの場を設ける。日程の調整は地区社協で行う。<br><br>４その他<br>■元気はつらつ教室について<br>包括ありたまの職員から、資料に基づき、元気はつらつ教室についての事業説明を行う。<br><br><u>委員から意見</u><br>・自分から介護サービスを使った方がいいと相談する人は少ない。資料にある基本チェックリストをやってみてもらって自己判断してもらえばよいのではないか？<br>・高齢者実態調査の時に元気はつらつ教室のこともからめればよいのではないか？<br>・アンケート的に基本チェックリストを高齢者にやってもらうのはどうか？ |

| | |
|---|---|
| | ・一人暮らしの高齢者でどれぐらいの人のニーズがあるのか？まずは、高齢者を調査する人が必要だと思う。<br>・このようなサービスがあるということも知らない人が多いことが課題。<br><br>5　副会長挨拶 |
| 今後の見通し等 | ・今年度第2回協議体会議は令和3年11月24日（水）9時30分～積志協働センター3階302講座室にて開催する。<br>・協議体会議とは別の場でも話し合いの機会を持ち、住民主体サービス補助金の申請の仕方を長寿保険課、高齢者福祉課、包括とともに話し合いの場を調整し検討していく。 |